

CANAView

簡易ガイド

■ □ ■ 目 次 ■ □ ■

1.接続の確認（VRS仕様）	2
2.CANAView の起動.....	3
3.通信条件を設定する	3
4.観測条件を設定する	4
6.観測する	5
7.VRS測位を終了する.....	6
8.座標の閲覧、エクスポートする	6
9.CANAView を終了する	7
付録．通信条件一覧.....	8

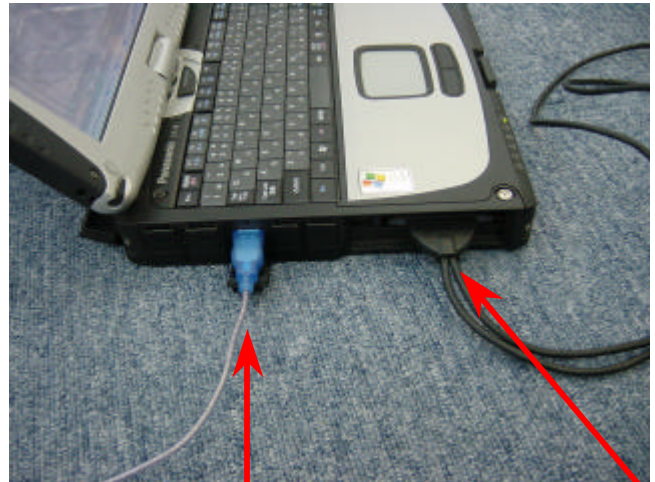
1.接続の確認（VRS仕様）

携帯電話は、VRS補正データ配信会社に契約している電話を使用します。（ダイアルアップ対応）



受信機（Port2） PC 拡張 COM（ ）

受信機（Port1） PC 拡張 COM（ ）



携帯用 USB モデム PC：奥から 3 番目の
ソケットに接続してください

拡張 COM ポート PC：下段のソケットに
接続してください



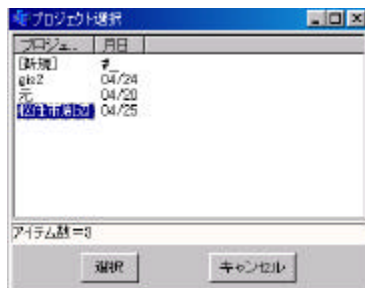
PC 拡張 COM（ ）に接続

PC 拡張 COM（ ）に接続

上記で説明の位置以外のポートにセットした場合、ポート番号が変わりますので注意してください。
ポート番号が変わると、CANAVIEW 内の通信条件を変更する必要があります。

2. CANAView の起動

- (1) デスクトップにある CANAView アイコン  をダブルクリックして起動します。
- (2) プロジェクト選択画面が表示されます。

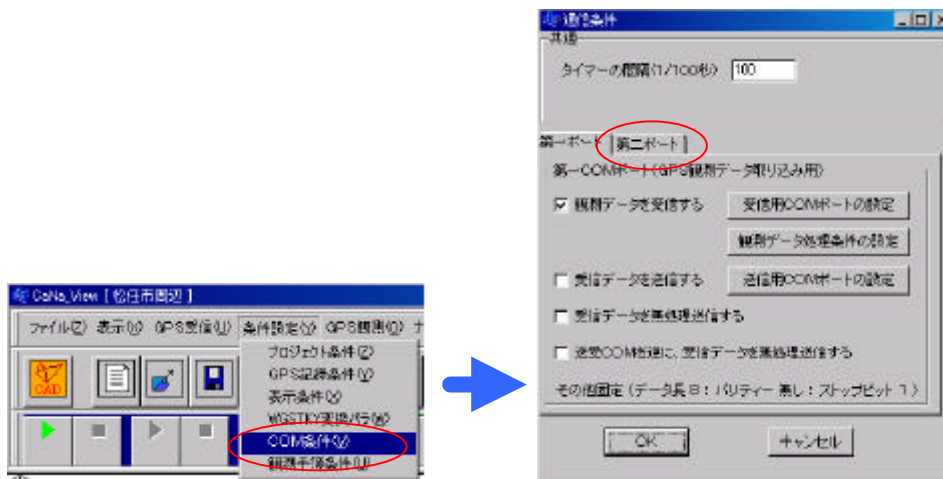


一覧から「松任市周辺」を選択して、「選択」をクリックしてください。

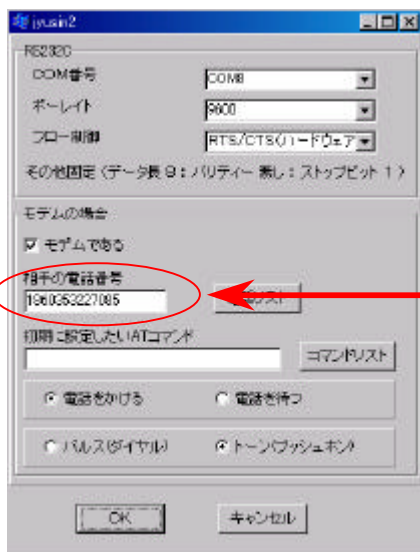
3. 通信条件を設定する

VRS に使用する携帯電話からデータ配信センターへダイヤルする為の電話番号を設定します。

- (1) メニューバー「条件設定」→「COM 条件」を選択します。次の画面が表示されます。



- (2) 「第二ポート」のタブを選択して、「受信用 COM ポートの設定」を選択します。下図が表示されます。



契約しているデータ配信センタの
接続先電話番号を設定します

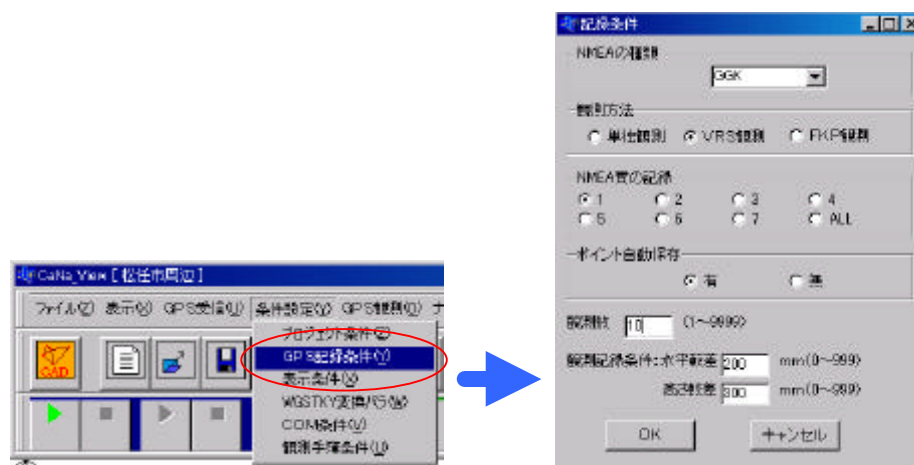
- (3) 「相手の電話番号」欄にデータ配信センタの接続先電話番号を設定します。
- (4) 「OK」をクリックして設定を決定します。

4. 観測条件を設定する

地物位置測定のための観測条件を設定します。

- (1) メニューバー「条件設定」→「GPS 記録条件」を選択します。

次の画面が表示されます。



- (2) 各欄の条件を必要に応じて調整します。

「NMEA の種類」 … GGK

「観測方法」 … VRS 観測

「NMEA 質の記録」 … 基本的に「7」にチェックをつけます。

(FIX 解以外のデータも有効にする場合、「1」にチェックをつけます)

「観測数」 … 観測エポック数を設定します。

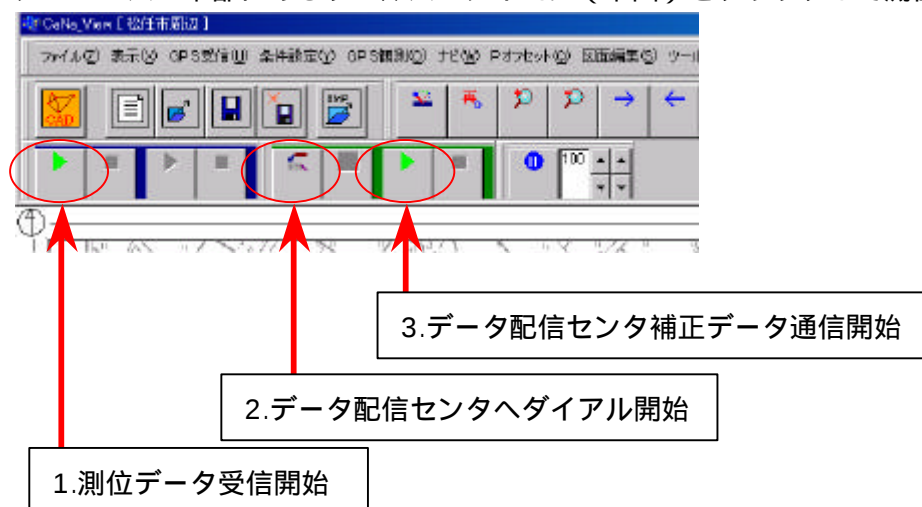
「観測記録条件」 … エポック数による記録許容範囲を設定します。

- (3) 「OK」をクリックして設定を決定します。

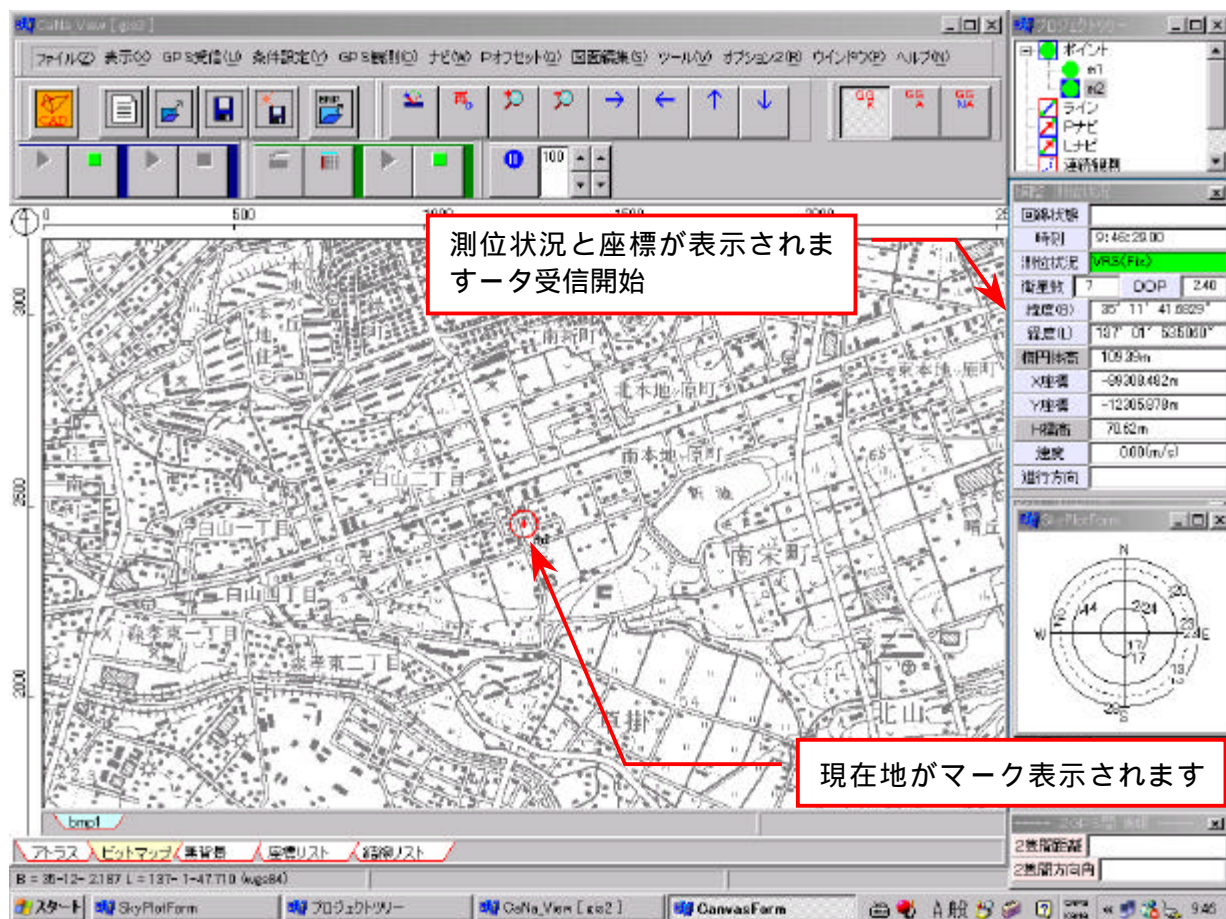
5. VRS 測位を始める

受信機から測位状況をオンラインし、かつ、VRS 測位を始めます。

- (1) メニューバー下部にあるツールバーアイコン (下図) をクリックして測位を始めます。



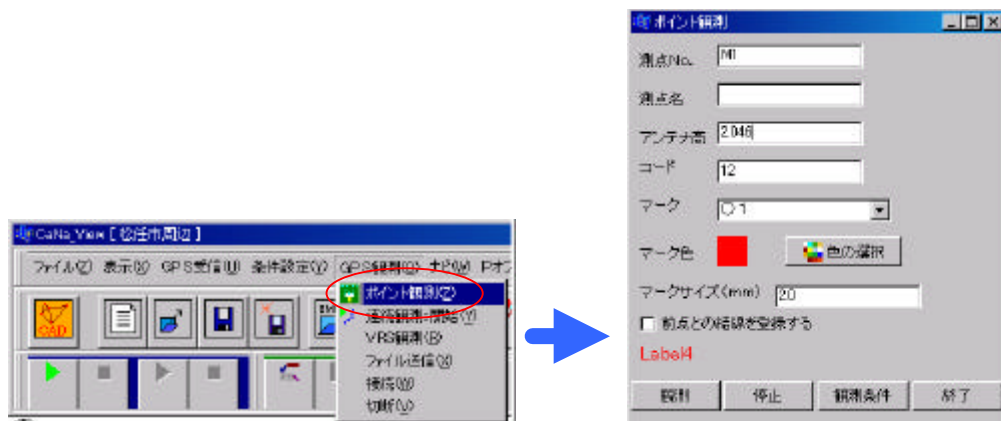
VRS 測位の状態は、画面右にある「***測位状況***」ダイアログに表示され、地図画面内に現在地が表示されます。



6. 観測する

目的位置を観測します。

- (1) メニューバー「GPS 観測」→「ポイント観測」をクリックします。
次の画面が表示されます。



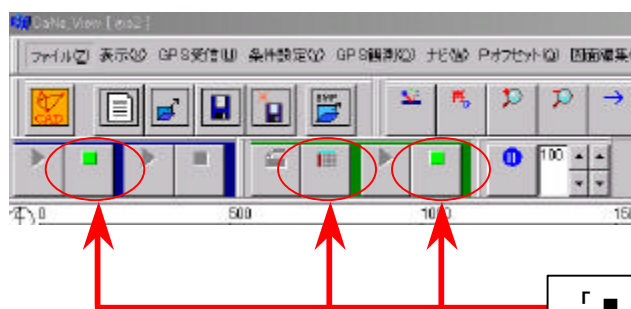
- (2) 「測点 No.」に名称を、「アンテナ高」にアンテナ高を設定した後、「観測」ボタンをクリックして観測を始めます。（「観測条件」ボタンをクリックして条件を変更できます）
観測位置は、地図上にプロットされます。
また、画面右部の「プロジェクトツリー」ダイアログにある「ポイント」欄に一覧されます。



7. VRS 測位を終了する

通信を停止し、測位を終了します。

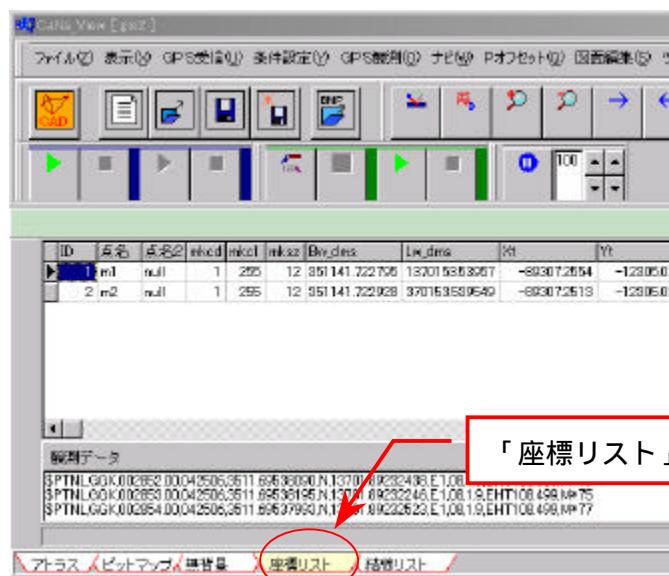
- (1) メニューバー下部にあるツールバーアイコン(下図)をクリックして測位を終了します。



8. 座標の閲覧、エクスポートする

- (1) 画面下部の「座標リスト」タブをクリックします。

観測した座標リストが表示されます。

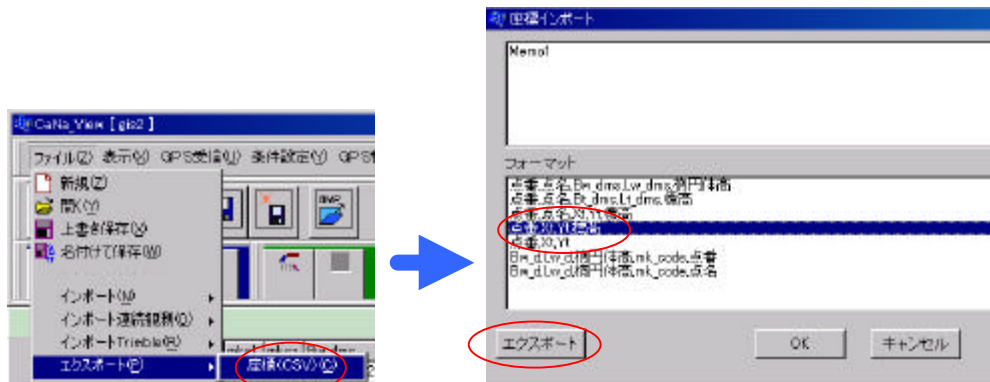


測定した座標が一覧表示されます

CANA'View

- (2) メニューバー「ファイル」→「エクスポート」→「座標(CSV)」をクリックします。

次の画面が表示されます。



- (3) 「フォーマット」一覧から、出力書式を選択します。

点名、X、Y、標高を出力する場合、「点番、Xt、Yt、標高」を選択します。

- (4) 「エクスポート」をクリックし、任意の場所にファイル出力します。

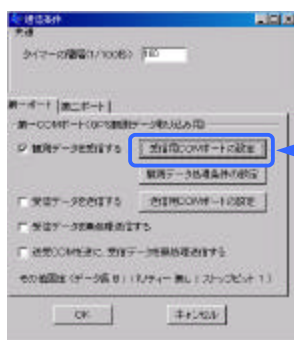
9. CANAView を終了する

- (1) メニューバー「ファイル」→「終了」をクリックします。

「書き込み」有無を聞いてきますので、必要に応じて「はい」をクリックしてプロジェクトを書き込み、終了します。



「第一ポート」：受信機との通信条件

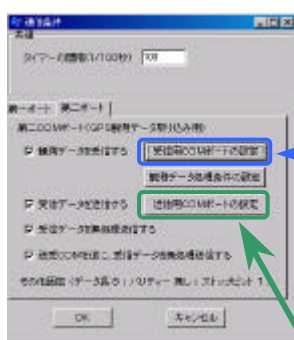


受信機から GGK を受信する為の通信条件です。

受信機からリアルタイムに GGK を受信しその結果を地図上に表示、ロギングします。

このポートをオープンすれば単独測位での現在地を地図上に表示します。

「第二ポート」：携帯電話の通信条件

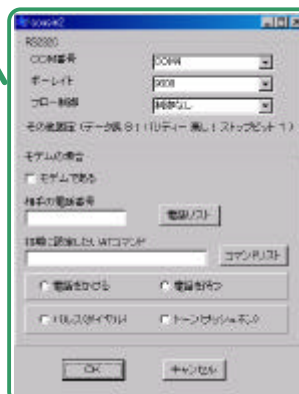


データ配信センタへダイヤルアップするための通信条件です。ここで設定するポートに携帯電話用モデムが接続されている必要があります。

現在位置をデータ配信センタへ送信後

、センタからそれに対する補正データが受信され、受信機へ送信します。

現在位置は、「送信用 COM ポートの設定」欄で設定します。



受信機から GGA を受信するための通信条件です。

受信したデータ（現在位置）は携帯を介してデータ配信センタへ送信します。

データフローイメージ

